

2020年8月28日  
株式会社 Libry

## スマートに学べる問題集「Libry（リブリー）」、 経産省の「EdTech 導入補助金」に採択

スマートに学べる問題集「Libry（リブリー）」を開発、提供する株式会社 Libry（本社：東京都千代田区、代表取締役 CEO：後藤 匠）は、経済産業省の令和元年度補正 先端的教育ソフトウェア導入実証事業(以下：EdTech 導入補助金)に採択されました。これにより、全国複数の自治体および学校法人に「リブリー」を提供し、生徒一人ひとりに合わせた学びを支援してまいります。



スマートに学べる問題集「リブリー」は、既存の教科書や問題集をデジタル化し、生徒一人ひとりの学習履歴に基づいて、AIドリル機能で個別最適化学習を実現する「デジタル教科書・教材」です。先生向けには、学習履歴の確認や宿題の配信・回収・集計ができる管理ツール「Libry for Teacher」を用意しており、先生の働き方改革に貢献しています。現在、書籍ラインナップは150冊を超え、500以上の中学校・高等学校に提供中です。

このたび、株式会社 Libry は、経済産業省の「EdTech 導入補助金」に採択されました。これにより、全国複数の自治体および学校法人に、「リブリー」を提供し、生徒一人ひとりに合わせた学びを支援します。

## ■ 「EdTech 導入補助金」について

Society5.0 時代における教育現場では、個別最適化された格差のない公平な学びと、プログラミング教育をはじめとする創造性を喚起する STEAM 学習を構築することが必要であり、そのためには ICT インフラの整備と併せ、EdTech ソフト・サービスの積極的な活用が効果的です。「EdTech 導入補助金」は、学校等教育機関に EdTech ソフト・サービスを導入する EdTech 事業者に対して、その導入に要する経費を補助することで、学校等教育機関へ EdTech ソフト・サービスの導入を促進し、教育イノベーションの全国的な普及を後押しすることを目的としています。

## ■ スマートに学べる問題集「リブリー」について <https://giga.libry.jp/>

スマートに学べる問題集「リブリー」は、GIGA スクールに最適な「デジタル教科書・教材」です。提携出版社の発行する教科書・教材をデジタル化し、学習履歴に基づいた個別最適化学習ができる AI ドリル機能で、生徒がより効率的に学べるようサポートします。



学校で導入していただくと、生徒向けコンテンツと合わせて、「リブリー」の学習履歴の確認や宿題の配信・回収・集計ができる先生用管理ツール「Libry for Teacher」もお使いいただけます。



「リブリー」を導入している学校では、臨時一斉休校中も家庭学習やオンライン授業に活用いただきました。特に「Libry for Teacher」の宿題管理機能は、パソコンやタブレット、スマートフォンから問題をパッと選ぶだけで生徒に宿題が届くので、「時間や場所を選ばずに課題を提示でき

る」「業務負担の軽減につながる」と好評です。生徒たちの学習や宿題の進捗状況もリアルタイムで確認できるので、生徒たちの学習状況を元に授業設計や課題作成をしたり、生徒への生活指導や宿題の着手を促すこともできます。



## ■株式会社 Libry について

「一人ひとりが自分の可能性を最大限に発揮できる社会をつくる」をビジョンに掲げ、スマートに学べる問題集「リブリー」を開発・提供しています。弊社は今後もコンテンツの拡充や新機能の開発を進め、学習者一人ひとりの興味・能力・状況に合わせて、適切な情報を適切なタイミングで提供できる「学習エコシステム」を構築してまいります。

- 会社名：株式会社 Libry
- 代表取締役 CEO：後藤 匠
- 設立：2012年5月
- 所在地：東京都千代田区岩本町 3-9-13 岩本町寿共同ビル 4F
- 企業サイト：<https://about.libry.jp/>

< 本件に関するお問い合わせ先 >

株式会社 Libry 広報担当：青山 E-mail：pr@libry.jp